

「東京青山68」第11回「ウォーキングの会」

～五反田から田町まで新緑の都心を歩きました！～

当初予定していた開催日の平成24年5月15日は生憎の天候不良のため、急遽5月17日に変更した。当日は薄曇で暑くもなく、寒くも無い絶好のウォーキング日和に恵まれた。

東海道線が信号トラブルの為列車が遅れているとの情報が入ったが、集合時間10時半過ぎには全員JR五反田駅改札口に集合した。

目黒川近くに位置する五反田駅は土地が低く、改札口の上に線路が走っている。其処から高台に位置する池田山高級住宅街の緩やかな坂を上り、最初の見学場所の美智子皇后の生家、正田家跡地にある「合歓の木の庭」に行く。今が盛りと咲き誇っている多様なお花を観賞し、全員の集合写真を撮る。



インドネシア大使館前を通り、小ぶりながら瀟洒な品川区立池田山公園に行って小休止。更に住宅街を通って今日の目玉の一つである「国立科学博物館附属自然教育園」に入る。



「自然教育園」の生い立ちは、今から4～500年前の中世時代の豪族の館から始まる。その後江戸時代に高松藩主松平頼重の下屋敷となり、明治に入ってからは陸海軍の火薬庫となり、大正になってからは白金御料地と歴史を重ねてきた。この間一般の人は中に入ることが出来なかつたので、希に見る豊な自然が残された。そして昭和24年に全域が天然記念物及び史跡に指定された。都心の中では唯一武蔵野の面影を残している、将に都会の「オアシス」となっている。

「自然教育園」内の広大な雑木林や池、湿地帯を約1時間かけて新鮮な空気を腹一杯吸いながら森林浴を楽しんだ。



次は目黒通りを桜田通り方面に向かって歩き、江戸市中に残さ

れた数少ない本格的仏堂建築として建造物の重要文化財に指定されている「瑞聖寺（黄檗宗）大雄宝殿」を見学する。

昼食は「東京大学医科学研究所」内にある生協食堂。予約は出来ないので各自チケットを券売機で買い求め、三々五々自分の好みの食事を取る。久し振りに学生時代の学食を思い出す。小一時間休憩する。

裏門を出てプラチナ通り（セレブなご婦人が利用するブティック、美容室、レストラン、カフェ等が立ち並んでいる）経由で目黒通りに出る。白金の住宅街をそぞろ歩きをし、大久保彦左衛門が眠っている

「立行寺」に立ち寄ってお参りをする。桜田通り沿いにある「明治学院大学」の礼拝堂等の歴史的建造物を歩道橋の上から眺める。短いながらやや急坂を上り高輪に出る。

田町方面に向かって歩いた所にある「元赤穂藩士国許家老大石良雄以下17義士自刃の跡」（旧細川藩邸）（集合住宅団地内の奥まったところにあるので全く目立たない）に行き頭を垂れる。何時行っても生花が供えられている。独特の雰囲気が漂っている。

広大な高松の宮邸を半周し、伊皿子坂交差点近くの「松島屋」でおやつとお土産用の団子と饅頭（460円）を調達し、全員に配る。坂を下りきったところにある「泉岳寺」に行く。

休憩所でみたらし団子を食べ、一息つく。浅野内匠頭長矩公と大石内蔵助以下四十七士のお墓をお参りと資料館（入館料500円）の見学をする。

皆の足取りがやや重くなっているので、予定を一部変更し、ここから第一京浜沿いに高輪の大木戸を経て一路田町の懇親会会場に直行することにした。会場の「中華飯店」に17時少し前に着いた。

ギンギンに冷えたビールで喉を潤す。この一杯で皆は又元気を回復する。会話が弾み、懇親会は盛りあがったが、楽しい余韻を残しながら19時過ぎにお開きとした。（会費は男性4千円、女性3千5百円）。

今回のウォーキングの歩数は概略2万1千歩。多少のアップダウンもあったが皆よく頑張った。

最後になりましたが今回のウォーキングの幹事役としてご協力頂いた折居さん、久保田さん、下田さん、田中さん、吉岡さんには心から感謝申し上げます。有り難うございました。

なお、今回の参加者は次の通り（敬称略）

阿部尚武、江上雅子、折居迪子、川崎孝作、久保田幸郎、斎木利昭、斎藤健弥、下田桂子、田中誠司、田村武次、中村輝夫、矢島則道、吉岡利昭、若井省吾、渡邊公夫、渡邊泰彦以上16名。

次回秋の「ウォーキングの会」は中村（輝）さんが幹事で、日時は10月4日（木）又は10月11日（木）を予定しております。場所は新宿界隈を楽しく散策することになっております。

具体的な案が確定しましたら幹事の中村さんからメール等でご案内しますので皆さん挙ってご参加下さい。

（渡邊公夫記）